

MS型側圧式液面計

MS-90S・MS-90・MS-L600

「安全上のご注意」

本製品の取扱いにつきましては、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。そのあとも保存し、必要なときにお読みください。

■ 取付け・稼働・保守・点検などの前に、必ずこの「安全上のご注意」と本製品の取扱説明書の内容をよく理解した上で、本製品を正しく安全にお使いください。

■ 本製品は、厳しい品質管理のもとに製造しておりますが、本製品が万一故障することにより人命、身体または財産に重大な損害が予測される場合は、前もってこれを回避するための措置を講じてください。

■ 安全に関する絵表示について

安全に関する内容により、その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解した上で、本文をお読みください。

	危険	: この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡したり重傷を負ったりするほか爆発や火災が切迫して発生することが想定される内容を示しています。
	警告	: この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡したり重傷を負ったりするほか爆発や火災を起こす可能性が想定される内容を示しています。
	注意	: この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったりするほか爆発や火災を起こす可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 なお、《注意》に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。 いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■ 絵表示の例



△記号は注意(危険や警告を含む)が必要な内容があることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



●記号は強制(必ず実行していただくこと)を示すものです。図の中や近傍に具体的な指示内容(左図の場合は特定しない一般的な使用者の行為)が描かれています。

注：本PL文書は、ガソリン・軽油・灯油・重油を対象としています。

前記以外の他の液種へのご使用につきましては、最寄りの当社支店・営業所(5ページ)へお問い合わせください。

液 面 計

 危 険	
 禁 止	<p>■ ライター・マッチなどの火気および防爆構造（電気回路が原因となって生じる爆発または火災を防止するために必要な構造）以外の照明器具による指示量などの確認は厳禁とします。</p> <p>ペーパー（可燃性ガス）への引火などにより爆発事故の原因となります。</p> <p>なお、防爆型懐中電灯につきましては、当社でも取扱っておりますので、最寄りの当社支店・営業所（5 ページ）へお問い合わせください。</p>
 警 告	
 バルブの増締め 日常点検	<p>■ 本製品のバルブハンドル軸部については、パッキンの応力緩和による締め付け圧力の低下から、漏れの発生が考えられます。ご使用前に、必ず同部のパッキン押さえナットを増締めしてください。また、ご使用中も日常点検を実施してください。</p> <p>引火・爆発事故、漏えい事故、故障などの原因となります。</p>
 バルブ操作	<p>■ 給油時にタンク内へ油などを圧送する時やタンクの圧力検査をする時などは、必ずバルブを閉じてメーター本体へ圧力が加わらない状態にして作業を行ってください。</p> <p>感圧部の破損などにより、引火・爆発事故、漏えい事故、故障などの原因となります。</p>
 製品取替時の 油の抜き取り	<p>■ 本製品を取替える際は、必ずタンク内の油を抜き取り、タンクを空の状態にしてからバルブを開いて作業を行ってください。</p> <p>引火・爆発事故、漏えい事故、故障などの原因となります。</p>
 禁 止	<p>■ 本製品に衝撃や振動などを与えないでください。</p> <p>内部には僅かな圧力をも検知するダイヤフラムなどの精密機器が組み込まれています。衝撃や振動などにより故障や破損など、引火・爆発事故、漏えい事故、誤作動などの原因となります。</p> <p>特に搬送時などにおいて、衝撃や振動などが加わらないよう適切な方法で搬送してください。</p> <p>（タンク本体に取り付けた状態での搬送は行わないでください）</p>
 禁 止	<p>■ 本製品は直射日光が長時間あたる場所に設置しないでください。</p> <p>やむを得ず、直射日光があたる場所に設置する場合は、日除けを設けるなど対策を施してください。</p> <p>内部温度上昇により故障や破損、誤作動などの原因となります。</p>
 禁 止	<p>■ 前面カバーはあけないでください。</p> <p>故障や破損、誤作動などの原因となります。</p>
 保 守 点 検	<p>■ 1年に1回以上の、配管工事などの専門業者による保守点検を実施してください。</p> <p>引火・爆発事故、漏えい事故、故障などの原因となります。</p>
 禁 止	<p>■ 本製品は絶対に分解や組み直し・修理・改造などを行わないでください。</p> <p>引火・爆発事故、漏えい事故、故障などの原因となります。</p>

そ の 他

 注 意	
 正確な管理	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本製品は計量法の対象外となっており、“めやす計”ですので在庫量の正確な管理が必要な場合は、他の方法にて行ってください。 ■ 本製品の品質には万全を期しておりますが、万一のトラブルなどに備えて入出荷量と液面計指示量との毎日の照合やその他の方法による毎日の照合を必ず実施してください。
 型式の選定	<ul style="list-style-type: none"> ■ 危険物屋外・屋内タンク貯蔵所に本製品を設置する場合は、当社型式「MS-90型」もしくは「MS-L600型」をご採用ください。 <p>消防法では「危険物屋外・屋内タンク貯蔵所に用いるバルブの材質は鋳鋼製または同等以上の機械的性質を有する材料を用いること」と定められています。上記型式の製品は消防法に準拠したバルブを採用しています。</p>
 安全設計	<ul style="list-style-type: none"> ■ 精密機械部品の故障発生とご使用時の装置、システムの製品安全設計のお願い。 <p>当社は品質、信頼性の向上に努めていますが、一般的に精密機械部品はある確率で故障が発生します。また、使用環境、使用条件などによって耐久性が異なります。したがって、当社製品のご使用に当たっては、その製品の故障もしくは寿命により、結果として人身事故、火災事故、オーバーフロー事故、漏えい事故、または社会的な損害などを生じさせないよう、冗長設計、引火・爆発防止設計・延焼対策設計、オーバーフロー事故対策設計、漏えい事故対策設計、誤作動防止設計などの安全設計や1年に1回以上の保守点検の実施をお願いいたします。</p>
 専門技術者による 工事	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本製品の取付・設置・動作確認・保守点検などの作業については、配管工事などの専門技術者が実施してください。 <p>引火・爆発事故、漏えい事故、故障などの原因となります。</p>
 産業廃棄物処理	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保守点検などで交換した部品や機器類は、産業廃棄物として処理をしてください。 <p>環境汚染の原因となります。</p>
 メンテナンス・コール	<ul style="list-style-type: none"> ■ 異常を見つけたときは、当社へ速やかにご連絡ください。 <p>本製品に対して異常や不明点など、何かお気付きの際は速やかに最寄りの当社支店・営業所（5ページ）へご連絡ください。</p>
 注 意	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本製品はガソリン・軽油・灯油・重油を対象としています。 <p>前記以外の他の液種へのご使用につきましては、最寄りの当社支店・営業所（5ページ）へお問い合わせください。</p> <p>なお、前記以外の他の液種へのご使用の場合は、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。</p>

そ の 他

注 意



注 意

- 本製品の保証期間は納入から1年間とし、保証期間内に本製品に不具合（作動不良など）が生じた場合は、当社は無償で本製品の修理または交換を行います。但し、不具合の発生が当社の責めによらない場合はこの限りではありません。

なお、上記の製品保証以外については、当社の責任の有無にかかわらず、いかなる場合においても下記(1)(2)に起因または関連する直接損害、間接損害、特別損害、拡大損害、逸失利益、その他一切の損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- (1) 本製品の使用や不具合
- (2) 本製品と当社または他社の製品（ソフトを含む）などを接続、連携や併用等を行った際の使用や不具合

ここでいう「製品（ソフトを含む）などを接続、連携や併用等」とは、下記①②などのあらゆる接続、連携や併用等を意味するものとします。

- ① 本製品と当社の製品（ソフトを含む）やサービス（役務等）などの接続、連携や併用等
- ② 本製品と他社の製品（ソフトを含む）やサービス（役務等）などの接続、連携や併用等

サービスネットワーク

東京営業本部	〒152-0002	東京都目黒区目黒本町2丁目 9-5 TEL (03)3716-5777(代) FAX (03)3716-2384
本社	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前4丁目 33-32 TEL (092)431-5131(代) FAX (092)431-3851
東京支店	〒152-0002	東京都目黒区目黒本町2丁目 9-5 TEL (03)3716-2391 FAX (03)3716-2384
横浜営業所	〒246-0031	横浜市瀬谷区瀬谷4丁目 19-5 TEL (045)301-9557 FAX (045)301-9558
大宮営業所	〒331-0811	さいたま市北区吉野町2丁目 192-5 TEL (048)663-9775 FAX (048)663-9758
名古屋支店	〒453-0056	名古屋市中村区砂田町3丁目 18 TEL (052)411-7782 FAX (052)411-7791
大阪支店	〒532-0003	大阪市淀川区宮原1丁目 4-20 TEL (06)6399-0515 FAX (06)6399-0516
札幌営業所	〒003-0002	札幌市白石区東札幌二条3丁目 2-39 TEL (011)812-9528 FAX (011)812-9529
青森営業所	〒030-0853	青森市金沢3丁目 8-40 TEL (017)735-5222 FAX (022)239-6627
仙台営業所	〒983-0043	仙台市宮城野区萩野町1丁目 12-4 TEL (022)239-6626 FAX (022)239-6627
金沢営業所	〒921-8016	金沢市東力町二 201 TEL (076)292-1612 FAX (076)292-1621
岡山営業所	〒700-0964	岡山市北区中仙道1丁目 1-31 TEL (086)243-3255 FAX (086)245-1232
広島営業所	〒733-0003	広島市西区三篠町2丁目 3-22 TEL (082)237-9231 FAX (082)237-9244
高松営業所	〒760-0008	高松市中野町 27-14 TEL (087)834-7555 FAX (087)834-7562
松山営業所	〒790-0932	松山市東石井6丁目 2-1 TEL (089)958-9261 FAX (089)958-9261
福岡支店	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前4丁目 33-32 TEL (092)431-1000 FAX (092)431-3851
鹿児島営業所	〒890-0063	鹿児島市鴨池1丁目 18-1 TEL (099)252-5861 FAX (099)252-5732
沖縄営業所	〒901-2126	沖縄県浦添市宮城6丁目 25-5 TEL (098)878-6068 FAX (099)252-5732

[S K Kホームページ] <http://www.showa-kiki.co.jp>